

## 説明・同意書

**傷病名：膝窩筋腱インピンジメント**

様

---

## 膝窩筋腱インピンジメント

### **術式：関節鏡視下骨棘切除術**

膝窩筋腱インピンジメントとは、膝窩筋腱を大腿骨外側顆の骨棘の機械的刺激をしている状態です。

膝窩筋腱は、大腿骨外側顆から起始し膝関節の後外側を通り脛骨に停止し、膝関節の安定性に寄与しています。

骨棘とは、骨に加えられた何らかの刺激に反応して骨組織が増殖し、棘上になったものです。

膝窩筋腱のインピンジメントにより、膝窩筋腱は炎症を引き起こされ、進行すると部分断裂を引き起こし膝関節後外側の疼痛の原因となります。

### **治療(手術)**

まず、関節鏡下に膝窩筋腱と骨棘を確認し最終診断を行います。

膝窩筋腱インピンジメントを確認後、正常軟骨と骨棘の境界部分よりオステオームを使用し骨棘を切除します。切除した骨棘は関節鏡のポータルより摘出します。また、切除部分はshaverを用いてスムーズにします。骨棘切除後、同部のインピンジメントがないことを確認し手術終了となります。

### **後療法・予想される経過**

術翌日より、疼痛に応じて歩行可能となります。通常歩行を確認後退院となります。

## 膝窩筋腱インピンジメント

す。

### 合併症

手術に伴っているいろんな困ったこと（合併症）が発生してくる可能性があります。

合併症を起こさないように最大限の努力はしていますが、100%安全な手術というのはありえませんので、何卒、御了承ください。以下に起こる可能性のある合併症のいくつかについて述べます。

**出血**：手術中は、出血しないように駆血帯で止血した状態で手術します。術後に、創部、骨棘切除部からの出血が予想されますが少量であり輸血が必要になる可能性は極めて低いと考えられます。

**感染**：どのような手術でも術後に創部や肺などに細菌が増殖して感染症をきたす可能性があります。予防的に抗生物質を投与しますが、万が一感染が起こった場合は抗生剤や外科的加療を要する場合があります。

**深部静脈血栓・肺塞栓**：手術中は脚の静脈に血のかたまり（血栓）が生じやすく、この血栓が肺動脈に流れて閉塞する疾患です。これにより呼吸困難などの症状を呈し、死亡することもあります。予防策として足の間欠的空気圧迫法を行っていますが完全に予防することはできません。

**アレルギー**：手術の際に使用する色々な薬剤が原因でアレルギーを起こすことがあります。非常に稀ですが、アレルギーにより血圧が下がり、手術を中止することもあります。

## 膝窩筋腱インピンジメント

**その他：**上記以外にも CRPS や抗生剤投与などによる肝機能障害、さらに成人病のひとつである脳梗塞、心筋梗塞など。このほかにも、想定外あるいは未報告の副作用・合併症が発生する可能性は否定できません。万一、このような合併症が起こった場合は、詳しく説明したうえで、できるだけ早く回復されるように最大限の努力をさせていただきます。

## 費用について

この治療や合併症が発生した場合の費用は、すべて健康保険の適応となります。高額医療の助成やその他公的助成等については、院内に相談窓口があるので、スタッフにお尋ねください。以上の説明で、ご不明な点、疑問な点、心配なことがありましたら、いつでも担当医師や病棟看護スタッフにご相談ください。また、いったん同意書に署名いただいた後でも、あなたやご家族の意向で、いつでも同意を撤回できますので、担当医までお申し出ください。たとえ、同意されない、あるいは同意を撤回したとしても、あなたやご家族は不利益な取り扱いを受けることは全くありません。私たちは、あなたやご家族がどんな選択をされた場合でも、最善の方法を一緒に考え、全力を尽くします

膝窩筋腱インピンジメント

説明年月日： 年 月 日

(説明にあたった者) \_\_\_\_\_

職種： 医師 氏名：

(同席者) 職種： 氏名： \_\_\_\_\_

職種： 氏名： \_\_\_\_\_

日本鋼管病院 病院長様

上記の説明を受け、

- よく理解できたので、同意いたします。
- セカンドオピニオン等、再度検討させていただきます。
- 今回は同意いたしません。

同意年月日： 年 月 日

ご本人 氏名 (署名) \_\_\_\_\_

代筆者 氏名 (署名) \_\_\_\_\_

患者との続柄 ( )

※ご本人が未成年、または意識障害などで署名できない場合は、親族・保護者・親権者・後見人等の代諾が必要です。

代諾者 氏名 (署名) \_\_\_\_\_

患者との続柄 ( )